



# 市民の皆さんの まちづくりの実感

## 8割以上が「住みやすい」と回答

今年の5月に実施した「市民まちづくりアンケート」の集計結果をお知らせします。

問い合わせ 企画課（市庁舎5階、☎65・4105）

市では、市民の皆さんが帯広市の住みごこちやまちづくりについての住みやすさを実感しているかを調査するため、毎年「市民まちづくりアンケート」を実施しています。今年度は無作為に抽出した20歳以上の市民4500人のうち、2369人（回収率52・6パーセント）から回答がありました。

「住みやすさ」と「定住意識」は今年も高水準

帯広市は「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した人を合わせると84・5パーセントでした。（表1）アンケートを開始した平成22年度以降、7年連続で8割を超えていて、多くの人が帯広市を住みやすいと感じています。

表1 住みごこちについて

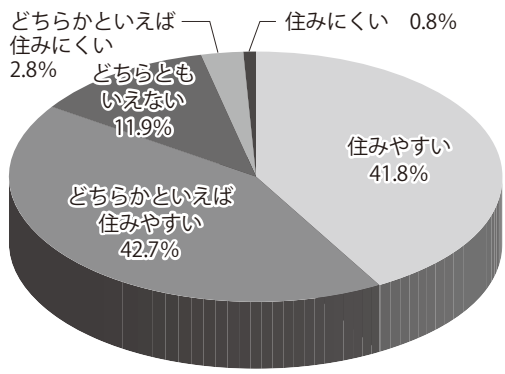
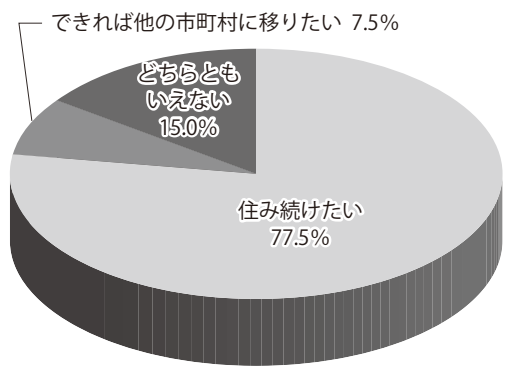


表2 定住意識について



皆さんが感じるまちづくりの実感度

まちづくりの実感度に関する50項目の質問のうち、おいしい水道水や安全で良質な農畜産物、消防・救急活動については、昨年を引き続き上位にあります。この他、墓地や火葬場、下水道の整備・管理などに関する項目で、実感度が高くなっています。一方で、中心市街地の活性化や高度な教育を受けるための環境づくり

表3 まちづくりの実感度について

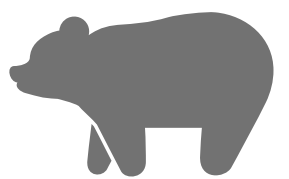
順位	実感度が高い項目（上位5つ）
1	おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
3	消火活動や救急活動が迅速に行われている
4	墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている
5	生活廃水や雨水が適切に処理されている

順位	実感度が低い項目（下位5つ）
46	日常生活において、交通事故に遭うことなく安心して暮らせる
47	幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる
48	商店や商店街に活気がある
49	大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
50	中心市街地に、魅力とにぎわいがある

アンケート結果は今後のまちづくりに活用します

アンケートでは、自由記載欄にまちづくりに関するさまざまな意見などもいただきました。集計した実感度や、いただいた意見は、今後のまちづくりの参考としていきます。

なお、アンケートの詳細な集計結果は、市庁舎や各コミセン、川西・大正支所でご覧いただけるほか、市ホームページにも掲載しています。



# 秋はヒグマ出没 注意！

## 八千代・拓成・岩内方面に多く生息

問い合わせ 農村振興課（市庁舎7階、☎65・4173）

秋は、キノコ採りなどで野山に立ち入る人も多く、ヒグマとの接触事故が多くなるシーズンです。野山はヒグマの生息域であるという心構えを持ち、新聞やテレビ、市ホームページ、注意看板などでヒグマの情報を確認しましょう。

ヒグマと出会わないために

ヒグマは本来、極力人間を避けて行動する動物です。早朝や夕方に比較的活発に歩き回ります。また、聴力に優れ音に敏感で、嗅覚も非常に発達しています。

日の出、日没時などの薄暗い時間帯は野山に立ち入らない

単独ではなく複数で行動する

鈴やラジオなど音の出るものを持ち、大声で話すなど、人間の存在をヒグマに知らせる

エゾシカなどの死骸を見つけたら速やかにその場を離れる

ヒグマのふんや足跡、臭いなど異変を感じたら直ちに引き返す

ヒグマを引き寄せないために

人間が出す生ごみはヒグマにとってごちそうです。一度その味を覚えたヒグマは餌を求めて人里に現れるようになり、人間との接触事故を引き起こす原因になります。おいしい強い食べ物を持ち込まない

### 特に注意が必要な地域

八千代・拓成・岩内方面では、ヒグマの生息が確認されています。この周辺を流れる戸蔦別川でも注意が必要です。目撃情報も多い地域なので、キノコ採りや釣りをする際は、遭遇する可能性があることを十分に認識してください。

